

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	タクシー運転手	来客数の動き	・月の後半は週末を除き、平日、休日ともにタクシー利用は少なかったが、前半は新年会等による客が多かった。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・依然として売上は前年割れの状況が続いている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・土、日曜日と祝日の来客数は非常に多いが、平日は極端に減っている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・1月のバーゲンセールで、去年はブランド品を半額にすれば客は活発に動いたが、今年は6～7割引でも unnecessary 商品は買わず、欲しい場合でも吟味に吟味を重ねている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・セール期に入り、来客数は増えている。しかし、20、30歳代の女性ファッションで、一部のブランド品は多少の実績を上げているものの、全体的には買上点数などが伸び悩み、厳しい状況が続いている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・ここ3カ月間は、客単価や販売量に下げ止まりがみられる。ただし、底をついた感があるとはいえ、まだ回復の兆しがみえたとは言えず、安いセール品に客が走ってくる動きも顕著である。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客は従来のように100円均一セールなど商品単価には興味を示さず、必要な物しか買わない傾向が強い。また、カードポイントが2～3倍セールなど、客にとって総合的に有利な企画時には来客数が多い。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・12月の商店街の通行量はかなり少なかったが、1月のセールでは例年以上に活気があった。客はセール待ちの状態である。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・競合店の影響で来客数は減少しているが、一方では商品の付加価値を見極め、必要であれば価格が高くて良い物を買うという傾向も見受けられる。
		乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・高額車両の売行きが不振で、全体的に単価が低くなっている。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子	・買上点数、客単価ともに従来と変わらない。客が商品を買うのは、本当に必要なぎりぎりの時である。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・正月が過ぎてから、商品はほとんど動かない。前年と比べても動きが悪い。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・忘・新年会の団体客はマイクロバスの送迎により、なんとか前年並みの来客数を維持している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門は観光客の若干の増加が続いているため、ビジネス客の減少を補い、前年並みとなる見込みである。減少が続いていた婚礼宴会も前年並みとなった。また、レストランの通常営業、一般宴会とも前年並みとなり、ほぼ半年ぶりに全体として前年並みの売上を見込んでいる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新年会や地元の鍋祭りのイベントなどで人出はあったが、タクシーの動きは今一つであった。 ・介護タクシーが人々に浸透してきたためか、需要が増えてきている。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規契約数の増加が頭打ちのままである。また、通話料金の滞納者が増加している。	
	設計事務所（職員）	お客様の様子	・マンション関係の企画が活発に動き始めたが、計画地が地方から首都圏に徐々にシフトし、地元からのニーズが薄れてきている。	
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・近隣のショッピングセンターでは、今年から元日営業を始め、更に年中無休としている。元日は天候にも恵まれたため、予想以上の来客数で売上も上がり、大変賑わった。しかし、見込んでいた5日の日曜日は天候が荒れ、売上がた落ちとなり、その後は正月気分もなくなり、売上は低迷している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・正月営業は各社、各業態ともに定着し、客は必要なときに必要なだけ買えるようになったが、逆に財布のひもは更に固くなっている。福袋や縁起物も年々吟味して買う傾向が強くなり、来客数は多いものの買上は少ないという状況である。

		スーパー（店長）	単価の動き	・1月1日からの正月営業に関して、福袋は好調に推移している。また、入店客も増加傾向にあるが、買上率が低い。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・春の新型パソコンが1月の第3週から第4週にかけて入荷してきたが、昨年、一昨年に比べてかなり悪い。単価は変わらないが、台数が伸びない。
		乗用車販売店（経理担当）	来客数の動き	・昨年秋口以降、新型のRV車の投入により来客数もそこそこあったが、この時期になると話題の新鮮さも薄れ、来客数もかなり減っている。
		その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・販売数量はある程度維持しているが、価格が極端に低い。
		その他専門店 〔医薬品〕（営業担当）	単価の動き	・商品単価の低下傾向は続き、1年前と比較して5%程度落ちているが、これを吸収するため、別途コストダウン策を講じている。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・昼の営業では通常価格650円の比較的安いランチが増えている。また、夜でも以前より平均単価が50～100円低下している。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊単価の低下が大きいため、セールス強化や稼働率アップによりカバーしている。レストランや宴会部門は新年会シーズンの企画商品が好調で、単価は大幅に改善している。
		美容室（経営者）	単価の動き	・最近、客単価を低く設定する競合店がいくつか出店し、またプライダル誌でも料金を低くする動きが1月から目立っている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の美容内容、来店頻度ともにほとんど変化はない。
	悪く なっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・買上客数は前年比で90%を切っており、今までにない厳しい状況である。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・県庁が移転し、大河ドラマのイベントも終わり、街の中の活気は一気に冷めた。警察の発表では交通量も20%減少し、歩行者も大変少なく、街は死んだような感じである。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・今月は天候が悪かったため、昼のランチタイムの客が少なく、また夜の客も早く帰宅するなど空席が目立ち、売上が減少している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・正月早々からの積雪による交通まひが不景気に追い打ちをかけ、来店客の第一声は「今年は雲行きが悪く、予想もつかない」など、一段と強い引き締め感がみられた。新年会の開催も少なめで、当店でも1月は売上ゼロの日が数回あり、例年の7割程度という状態である。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・宿泊費が非常に安くなっている。また、雪の影響で客の動きも悪い。
		テーマパーク（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価ともにダウンし、また天候不順のため滞在時間も短くなっている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・団体客は前年同月比で約1割強、個人客は約1割弱の減少となっている。主な要因は「安・近・短」志向により、関西、中京方面からの客が日帰り圏内の旅行を選び、1泊2日のエリアである当施設の利用が遠のいているためとみられる。
企業 動向 関連		良く なっている	-	-
	やや良く なっている	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注単価は厳しいが、受注を取る気になれば、いくらでも仕事量があるという状況になってきた。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業界としてのシーズン感覚でみると、春、夏物の動きがよくない。
		化学工業（営業担当）	競争相手の様子	・売上の基調は悪くなっているが、同業他社では低価格対応により販売量を増大している。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・今月は年末の荷動きが少なかった反動による増加が期待外れに終わり、トラックも人も余るといった過去最低の状況が続いている。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・1月に入っても依然として販売価格、量ともに減少しつつあり、プレーキが利かない。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・カメラ付き携帯電話の売行きは好調であるが、新規の契約は依然として少ない。	

	やや悪くなっている	新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新聞折込チラシでは不動産や求人関係がほとんどみられず、東京、大阪を中心とした消費者金融が増えている。
		司法書士	取引先の様子	・特に個人事業者や中小企業者を中心に、破産の相談が非常に多くなっている。
	悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・価格の引下げ要求に対して、取引先が応じてくれない状況が続いている。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・下請協力先の信用不安や倒産が相次ぎ、対応に苦慮している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新聞の求人広告件数は前年同月比で130%と増加している。特に派遣などの求人が多い。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・年末年始の単発的な求人は少ない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人の受理状況に大きな変化はない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人数、求職者数に大きな動きはみられないが、廃業、倒産、人員整理などが年末から1月にかけて増加している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・10人規模以上のリストラ情報が3社から入っている。
	悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は前年に比べて9割程度の実績である。県内からの分は前年をクリアしているが、東京、大阪、名古屋などからの分が落ち込んでいる。